

足柄小学校 PTA

変革の経緯まとめ

R6 年度 7 月作成



委員会制から完全ボランティア制になった経緯をヒアリングし、可能な限り記録しました。

ご不明点は、PTA 本部まで（本部メールアドレス：hokaikidon.pta@gmail.com）

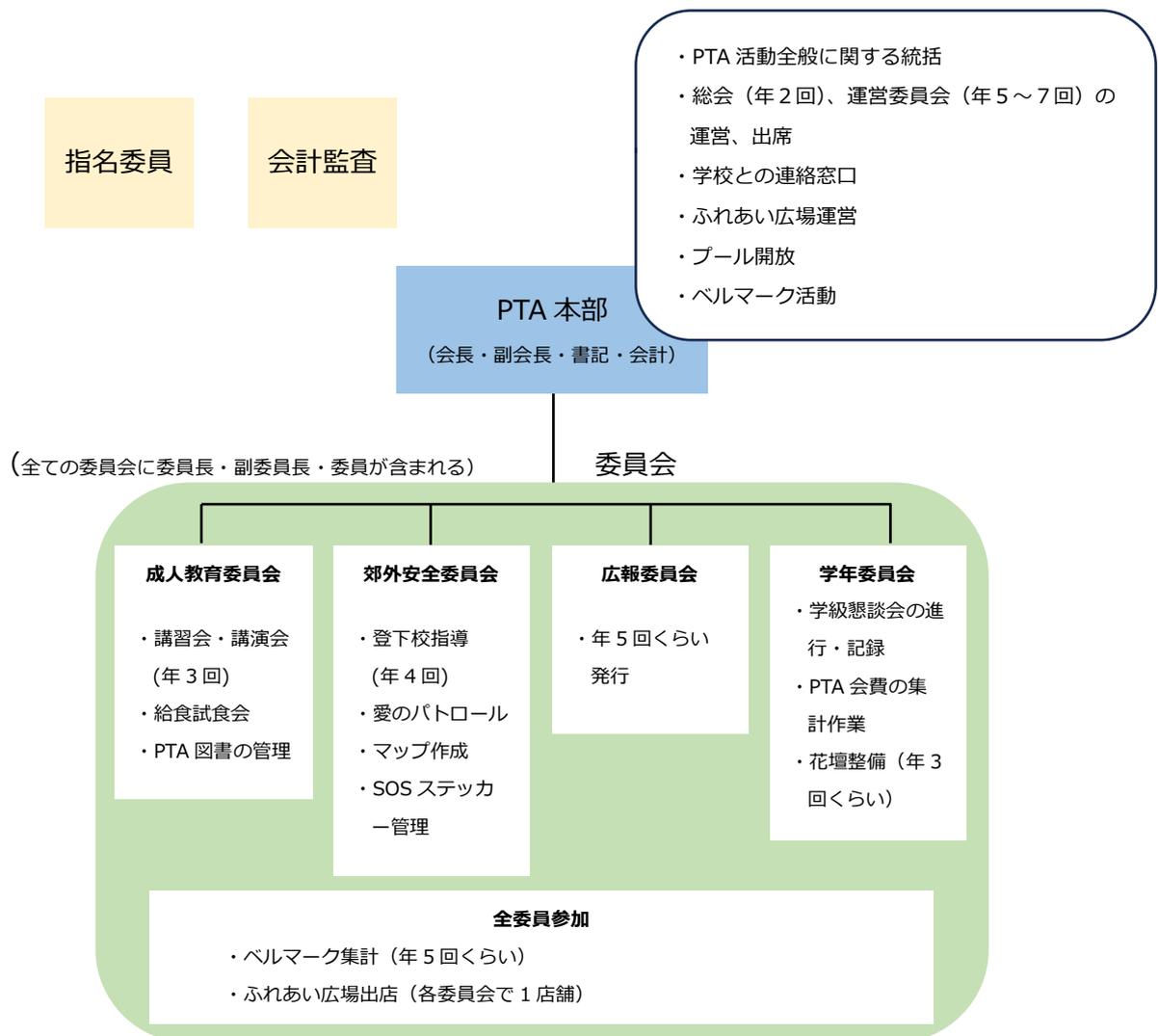
1 児童につき 1 回制度時代

他校と同じように、委員会制度で行っていた。強制力が強く、子ども 1 人につき、1 回は本部役員、委員会役員、学年代表の役につかなければならなかった。

次期、本部役員の選定は指名委員会が 1 人ずつ電話するなどして、立候補していただける方を探すこともあった様子。

～ルール～

- 1 児童につき 6 年間で 1 回は委員をやる（子どもが 3 人なら 3 回）
- 委員会メンバーは各学年で人数が決まっており、学年委員が調整や人員を用意する
- 運営委員会（年 7 回ほど、PTA 活動の企画・運営・連絡を行う）には、本部役員、常任委員会の長・副委員長（学年委員は長のみ）が出席する
- 本部役員は完全指名制。募集や意向調査などはなし。電話で順々にお願いしていた（ローリング作戦）
- 花壇整備、運動会、ふれあい広場など、保護者全体に協力を依頼して行うものもあった

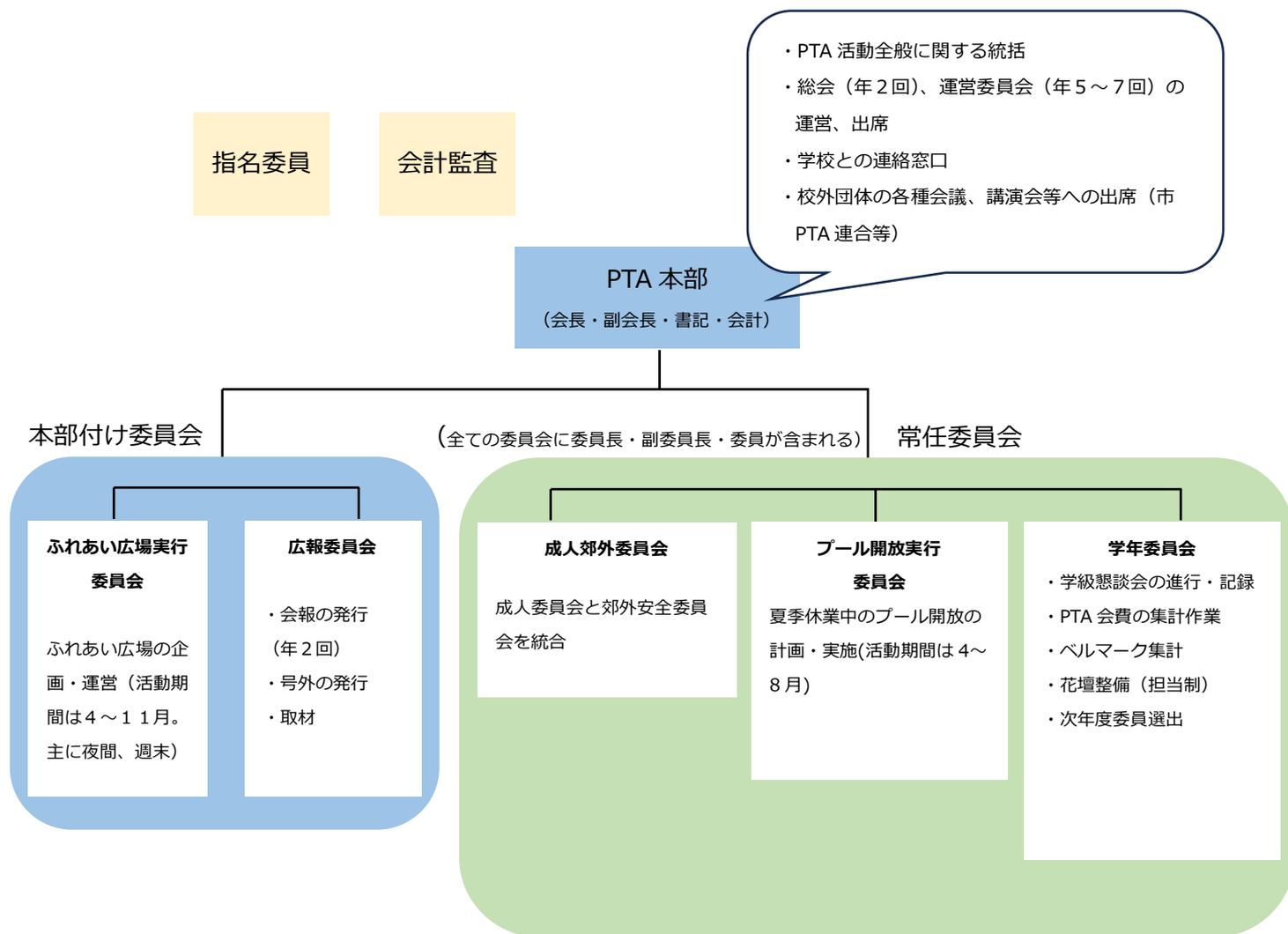


本部の負担軽減・委員会の整理

H30 年度

委員会の整理を行い、仕事の分担を変更。基本的なルールは以前同様。

- ・本部付け委員会が発生。(本部付け委員会は運営委員会に出なくても良い)
- ・登下校指導が減り、成人委員会と郊外安全委員会を統合した。
- ・ベルマーク作業が全委員参加でなく、学年委員会の仕事になった。



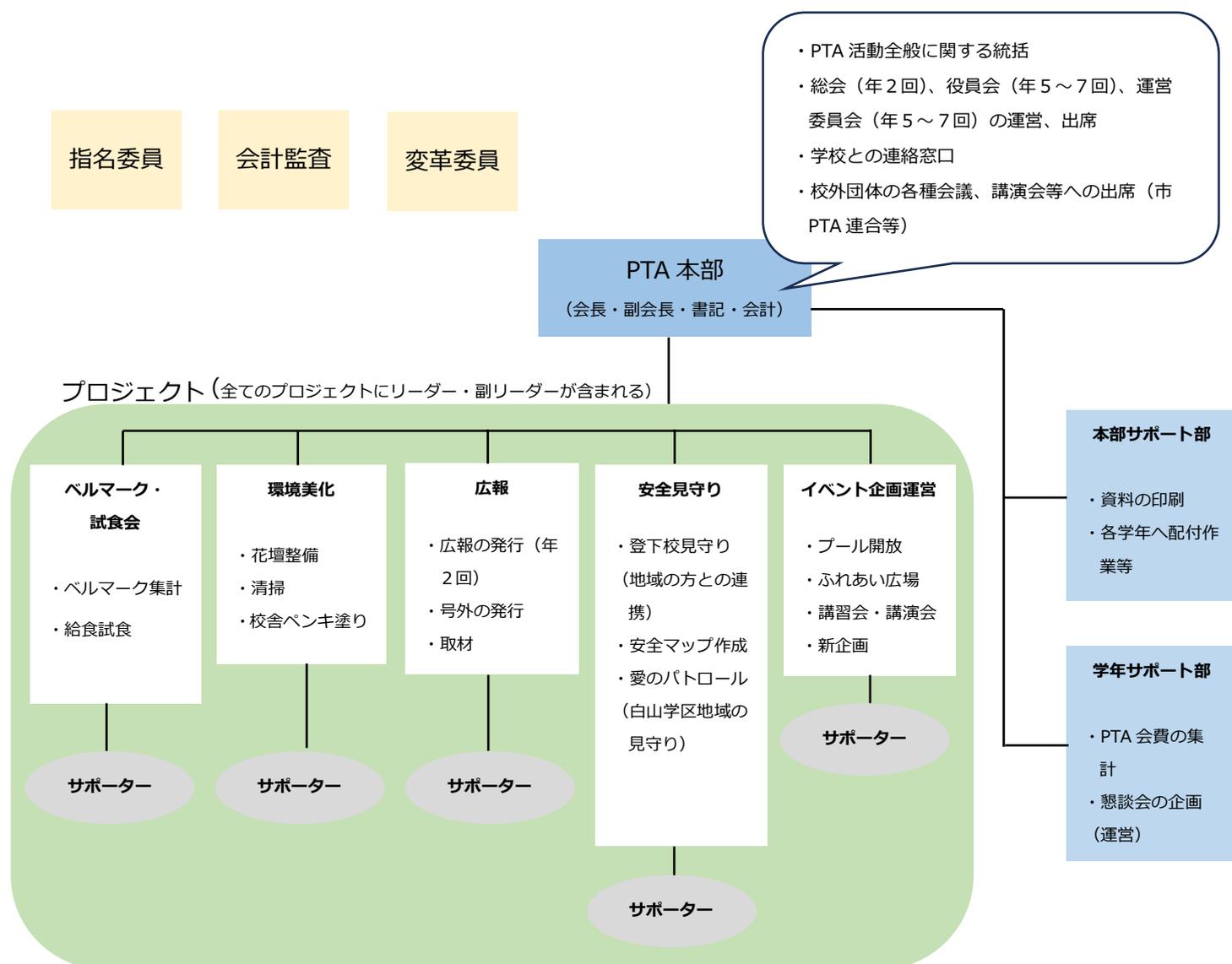
強制的に役につくのが困難という声が多かった

サポーター制度時代 ※全員が何かのプロジェクトに属している

何年間かに分けて、徐々に内容が変革していった様子。他校の PTA のやり方を調べに現地に赴いたり、校内でアンケートを取ったりと学校・保護者にとって良い方向へ変えようと精力的に活動していた。

～ルール～

- 各プロジェクトのリーダー・副リーダーのみ、指名で決定。他会員全員、どこかのサポーターに所属する
- リーダー・副リーダーは運営委員会に出席する（年 6.7 回）
- 意向調査後、指名委員が連絡して次期役員、プロジェクトメンバーを決定する（公募はしていない）
- イベント企画運営は、リーダーは 1 人、それぞれのイベントごとに副リーダーをたてる
- 各プロジェクトには、本部担当がつき連絡調整をする



各プロジェクトのリーダー・副リーダーに業務が集中してしまった

完全ボランティア制度

完全ボランティア制度。自主的に、出来る時に、出来ることをやろうというポリシーを掲げて、本部役員、安全見守りプロジェクト、ふれあい広場プロジェクト、フリープロジェクト（その時にやりたいプロジェクトをやりたい本人が立ち上げて、本部が支援する）の3本柱で運営。サポーターは必要な時に募集して参加してもらう。※改革をしてすぐにコロナ禍になってしまい、軌道に乗る前に、PTAの活動自体が大幅に縮小され、プロジェクトの活動が思うようにいかないまま、数年過ぎてしまった。一時期はふれあい広場の中止に加え、各プロジェクトの活動も制限・縮小が余儀なくされていた。

～ルール～

- 全員登録サポーター廃止。サポーターは、その都度の募集とする
- プロジェクトはリーダー等なく、運営委員会廃止により会議出席義務はなし。出席することも可
- 提案したいこと（新しいプロジェクトなども）は、役員会の後に代表委員会を通して決定。各プロジェクトには、本部担当が少なくとも1人つく
- 学年代表は代表委員会に出席すること（各学年1人いることが望ましい）。学年代表とふれあい広場の出店係は年度初めの懇談会にて募集する
- 次期役員、プロジェクトメンバーは指名ではなく、公募となる（本部役員がおたよりなどを作成、説明会をする）。人数により、その年度の活動内容を決めていく

